

箱根町子ども・子育て支援事業計画における 「量の見込み」の算出について

目次

1	概要	3
2	「量の見込み」を算出する事業	3
3	「量の見込み」の算出の流れ	5
4	「量の見込み」の算出	6
(1)	家庭類型の分類	6
(2)	－1 平日日中の教育・保育の利用意向の集計	7
(2)	－2 地域子ども・子育て支援事業の利用意向の集計	8
①	時間外保育事業	8
②	放課後児童健全育成事業	9
③	子育て短期支援事業	9
④	地域子育て支援拠点事業	10
⑤	一時預かり事業	11
⑥	病児保育事業	12
⑦	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）【就学後の利用】	12
⑧	利用者支援事業	13
(3)	－1 計画初年度（平成27年度）における平日日中の教育・保育の需要量の算出	14
(3)	－2 計画初年度（平成27年度）における地域子ども・子育て支援事業の需要量の算出	16
①	時間外保育事業	16
②	放課後児童健全育成事業	17
③	子育て短期支援事業	18
④	地域子育て支援拠点事業	19
⑤	一時預かり事業	20
⑥	病児保育事業	22
⑦	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）【就学後の利用】	23
⑧	利用者支援事業	25
(4)	需要量に対する事業量の見込み	25

1 概要

子ども・子育て支援法において、市町村は、国が示す基本指針に即して、5年を1期とする市町村子ども・子育て支援事業計画を作成することとされており、本町においても、平成26年度に「箱根町子ども・子育て支援事業計画」を策定いたします。

なお、計画の中では、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みとともに、それに対応する提供体制の確保の内容及び実施時期について定めることになっています。

そこで、計画の策定に当たり、今年度は保護者に対する調査等（以下、「ニーズ調査」という。）を実施しており、この調査結果を踏まえて、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを推計し、具体的な目標設定を行うことが求められています。

2 「量の見込み」を算出する事業

次の事業については、子ども・子育て支援事業計画で定める「教育・保育提供区域」ごとに「量の見込み」の算出を行う必要があります。

表1 平日日中の教育・保育（子ども・子育て支援給付）

認定区分		対象事業	事業概要
1号	子どもが満3歳以上で、専業主婦（夫）家庭、就労時間が短い家庭	認定こども園及び幼稚園	認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）及び幼稚園で、教育標準時間（1日4時間程度）の幼児教育を実施
2号	子どもが満3歳以上で、共働きであるが、幼稚園の利用希望が強いと想定される家庭	幼稚園	幼稚園で、教育標準時間（1日4時間程度）の幼児教育を実施
	子どもが満3歳以上で、共働きの家庭	認定こども園及び保育所	認定こども園及び保育所で、両親ともにフルタイムで就労する場合、又はそれに近い場合は、 <u>保育標準時間（1日11時間）</u> までの利用に対応。両親の両方又はいずれかがパートタイムで就労する場合は、 <u>保育短時間（1日8時間）</u> までの利用に対応。

認定区分		対象事業	事業概要
3号	子どもが満3歳未満で、共働きの家庭	認定こども園及び保育所＋地域型保育	認定こども園及び保育所で、両親ともにフルタイムで就労する場合、又はそれに近い場合は、 <u>保育標準時間（1日11時間）</u> までの利用に対応。両親の両方又はいずれかがパートタイムで就労する場合は、 <u>保育短時間（1日8時間）</u> までの利用に対応。 地域型保育（定員6人以上19人以下の小規模保育、定員5人以下の家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育）で、上記と同様の対応。

表2 地域子ども・子育て支援事業

対象事業		事業概要	対象児童年齢
1	時間外保育事業	11時間等を超えて保育を行う事業	0～5歳
2	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	放課後、自宅に帰っても保護者がいない小学校児童に、遊びを主とする健全育成活動を行う事業	1～3年生、4～6年生
3	子育て短期支援事業	親の病気、残業などの場合に児童養護施設等において一時的に預かるショートステイ、トワイライトステイ	0～18歳
4	地域子育て支援拠点事業	子育て支援センター事業	0～2歳
5	一時預かり事業	幼稚園における在園児を対象とした一時預かりや保育所その他の場所での一時的な保育事業	3～5歳（幼稚園） 0～5歳
6	病児保育事業	病院等付設の専用スペース等で看護師等が一時的に保育する事業	0～5歳、1～6年生
7	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	依頼会員と援助会員で構成する子どもの送迎・預かりサービス	0～5歳、1～3年生、 4～6年生
8	利用者支援事業	子育て支援事業の中から適切なものを選択し円滑に利用できるよう、身近な場所で支援を行う事業	0～5歳、1～6年生

3 「量の見込み」の算出の流れ

「量の見込み」の算出の流れは、次のとおりです。

(1) 家庭類型の分類

就学前児童の保護者へのニーズ調査結果に基づき、対象となる子どもの父母の有無、就労状況を踏まえて、タイプAからタイプFまでの8種類の「家庭類型」に分類します。



(2) 各事業（平日日中の教育・保育、地域子ども・子育て支援事業）の利用意向の集計

ニーズ調査結果に基づき、各事業対象者に該当する「家庭類型」ごとの利用意向を集計します。



(3) 需要量の算出 = 推計児童人口 × 家庭類型 × 事業の利用意向

児童人口の推計結果と家庭類型ごとの割合を掛け合わせ、将来の家庭類型ごとの児童人口を算出し、それに各事業の利用意向を掛け合わせることで、各事業の需要量を算出します。



(4) 需要量に対する事業量の見込みを設定

各事業の需要量に対して、何%の事業量を確保するのか（需要量に対して100%又は50%など）、あるいは、どのような供給体制を確保するのか（既存の施設等での供給、又は新規施設の整備など）を検討し、事業量の見込みを設定します。

4 「量の見込み」の算出

(1) 家庭類型の分類

ニーズ調査結果に基づき、対象となる就学前児童の父母の有無、就労状況を踏まえて、タイプAからタイプFまでの8種類の「家庭類型」に分類したところ、本町の場合は、潜在で両親ともにフルタイム【タイプB】が31.7%、フルタイムとパートタイムの組み合わせ【タイプC、C'】が28.1%、専業主婦（夫）家庭【タイプD】が25.1%などとなっています。

表3 家庭類型の分類

家庭類型		現在		潜在 ※1	
		実数	割合	実数	割合
タイプA	ひとり親	20	12.0%	20	12.0%
タイプB	フルタイム×フルタイム	46	27.5%	53	31.7%
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間 月120時間以上+下限時間 ※2 ~120時間の一部)	46	27.5%	47	28.1%
タイプC'	フルタイム×パートタイム (下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	3	1.8%	5	3.0%
タイプD	専業主婦(夫)	52	31.1%	42	25.1%
タイプE	パートタイム×パートタイム (両親双方就労時間 月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE'	パートタイム×パートタイム (両親のいずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF	無業×無業	0	0.0%	0	0.0%
ニーズ調査の回答者全体		167	100.0%	167	100.0%

※1 潜在とは、例えば、現在は母親がパートタイム、父親がフルタイムのご家庭（タイプC）で、母親にフルタイムへの転換希望があり、希望が実現できる見込みがあると回答している場合には、潜在としてはタイプBに組み込むこと

※2 下限時間とは、国の基準として、保育短時間（1日8時間）の利用対象者として、パート等の就労時間の下限は1か月当たり48時間以上64時間以下の範囲で、市町村が定めることが基本となっており、今回は下限時間を64時間と設定

(2) - 1 平日日中の教育・保育の利用意向の集計

子どもの年齢区分（0歳家庭、1・2歳家庭、3歳～就学前家庭）ごと、かつ、認定区分ごとに、教育・保育（幼稚園や保育所等）に対する利用意向を集計しました。

各利用意向率は、次のとおりです。

表 4 平日日中の教育・保育の利用意向率

■0歳家庭のみ

①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	100.0%
タイプB フルタイム×フルタイム	87.5%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)	83.3%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)	

■1・2歳家庭のみ

①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	100.0%
タイプB フルタイム×フルタイム	85.7%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)	85.7%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上＋下限時間～120時間の一部)	

■3歳～就学前家庭のみ

①1号認定（認定こども園及び幼稚園）

	利用意向率(割合)
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満＋下限時間～120時間の一部)	100.0%
タイプD 専業主婦(夫)	91.7%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満＋下限時間～120時間の一部)	
タイプF 無業×無業	

【表の見方】

0歳家庭の3号認定でタイプB（フルタイム×フルタイム）の場合は、「認定こども園及び保育所＋地域型保育（いずれかの施設という意味）」を87.5%の方が希望しているという見方になります。

利用意向率が空欄となっているものは、ニーズ調査で該当するタイプの家庭がなかった場合であり、今後、他のタイプの利用意向率を当てはめることを検討します。

②2号認定

(1)幼稚園の利用希望が強いと想定

	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	15.4%
タイプB フルタイム×フルタイム	13.8%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	15.2%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	

(2)認定こども園及び保育所

	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	84.6%
タイプB フルタイム×フルタイム	85.2%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	84.8%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	

【表の見方】

2号認定の場合は、保育の必要性が認定された家庭の中で、幼稚園を希望する家庭(現状、幼稚園を利用している家庭等)と認定こども園及び保育所を希望する家庭とに分けて集計しています。

(2) - 2 地域子ども・子育て支援事業の利用意向の集計

① 時間外保育事業

就学前児童の保護者ニーズ調査の問16(平日定期利用するもので今後希望する教育・保育事業)で、選択肢「3」～「10」のいずれかを選び、かつ、問15-2(2)(今後の利用希望時間帯)で「18:00以降」と記入した方の割合を集計しました。

各利用意向率は、次のとおりです。

表5 時間外保育事業の利用意向率

■0～就学前家庭	
	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	7.7%
タイプB フルタイム×フルタイム	0.0%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	4.2%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	

② 放課後児童健全育成事業

低学年は、就学前児童の保護者ニーズ調査の問 26（低学年の放課後の過ごし方の希望）で、選択肢「4 児童クラブ」を選んだ方、高学年は就学前児童の保護者ニーズ調査の問 27（高学年の放課後の過ごし方の希望）で、選択肢「4 児童クラブ」を選んだ方の割合を集計しました。なお、需要の大きさによっては、「4 児童クラブ」以外にも選択し、かつ、利用希望回数が週に2回以下の方は除外することを検討します。

表 6 放課後児童健全育成事業の利用意向率

■低学年

	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	44.4%
タイプB フルタイム×フルタイム	60.0%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	72.2%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	

■高学年

	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	22.2%
タイプB フルタイム×フルタイム	33.3%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	52.9%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	

③ 子育て短期支援事業

就学前児童の保護者ニーズ調査の問 25（泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった場合の預け先）で、選択肢「イ ショートステイを利用した」、「オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を選んだ方の割合を集計しました。

表 7 子育て短期支援事業の利用意向率等

■0～就学前家庭

	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)
タイプA ひとり親	0.0%	0.0
タイプB フルタイム×フルタイム	0.0%	0.0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプD 専業主婦(夫)	0.0%	0.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		
タイプF 無業×無業		

④ 地域子育て支援拠点事業

就学前児童の保護者ニーズ調査の問 17 (子育て支援センター等の利用状況) で、選択肢「1 子育て支援センター、子育てサロン」を選んだ方と問 18 (子育て支援センター等の利用意向) で「1 利用していないが、今後利用したい」を選んだ方を合わせた方の割合を集計しました。

表 8 地域子育て支援拠点事業の利用意向率等

■0～2歳家庭のみ

	利用意向率(割合)	平均利用意向回数(回)
タイプA ひとり親	33.3%	4.0
タイプB フルタイム×フルタイム	59.1%	1.0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	84.6%	4.3
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	100.0%	12.0
タイプD 専業主婦(夫)	82.1%	7.4
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		
タイプF 無業×無業		

※平均利用意向回数は月当たり

⑤ 一時預かり事業

①のアは、就学前児童の保護者ニーズ調査の問 16（平日定期利用するもので今後希望する教育・保育事業）で、選択肢「1 幼稚園」、「4 幼児学園（認定こども園）」を選び、かつ、問 24（不定期の一時預かりの利用意向）で「1 利用したい」を選んだ方の割合を集計しました。

①のイは、就学前児童の保護者ニーズ調査の問 15-1（平日定期利用している教育・保育事業）で、選択肢「1 幼稚園」を選び、かつ、問 23（不定期の一時預かりの利用状況）で「1 一時保育」、「2 幼稚園の預かり保育」を選んだ方の割合を集計しました。

表 9 一時預かり事業の利用意向率等

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)

①<1号認定>による利用

	ア	イ	利用意向日数(日)
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	25.0%	25.0%	12.000
タイプD 専業主婦(夫)	60.0%	25.0%	12.000
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)			
タイプF 無業×無業			

【注】3～就学前家庭のみ

ア:「1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合」

イ:「不定期事業を利用している幼稚園利用者の幼稚園型一時預かり等の利用割合」

※利用意向日数は年当たり

②<2号認定>による利用

	利用意向率(割合)	就労日数(日)
タイプA ひとり親	100.0%	208.0
タイプB フルタイム×フルタイム	100.0%	312.0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	100.0%	286.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	100.0%	

■上記以外

	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)
タイプA ひとり親	64.3%	25.5
タイプB フルタイム×フルタイム	69.4%	27.4
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	34.5%	24.6
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプD 専業主婦(夫)	60.0%	7.5
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		
タイプF 無業×無業		

⑥ 病児保育事業

就学前児童の保護者ニーズ調査の間 22-1（病気やケガ等で教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法）で、選択肢「1 父親が休んだ」、「2 母親が休んだ」を選んだ方のうち、問 22-2（病児・病後児保育の利用意向）で「1 できれば病児・病後児保育を利用したい」を選んだ方と、問 22-1 で「オ 町外の病児・病後児保育を利用した」、「キ 町外のファミリー・サポート・センターを利用した」、「ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を選んだ方を合わせた割合を集計しました。

表 10 病児保育事業の利用意向率等

■0歳～就学前家庭

	発生頻度	利用意向日数(日)
タイプA ひとり親	27.8%	4.3
タイプB フルタイム×フルタイム	22.0%	8.3
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48～120時間の一部分)	20.6%	7.8
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48～120時間の一部分)		

※利用意向日数は年当たり

⑦ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）【就学後の利用】

低学年は、就学前児童の保護者ニーズ調査の間 26（低学年の放課後の過ごし方の希望）で、選択肢「5 ファミリー・サポート・センター」を選んだ方、高学年は就学前児童の保護者ニーズ調査の間 27（高学年の放課後の過ごし方の希望）で、選択肢「5 ファミリー・サポート・センター」を選んだ方の割合を集計しました。

表 11 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）の利用意向率等

■低学年

	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)
タイプA ひとり親	0.0%	0.0
タイプB フルタイム×フルタイム	6.7%	1.0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部分)	0.0%	0.0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部分)	0.0%	0.0
タイプD 専業主婦(夫)	11.1%	1.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部分)		
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部分)		
タイプF 無業×無業		

■高学年

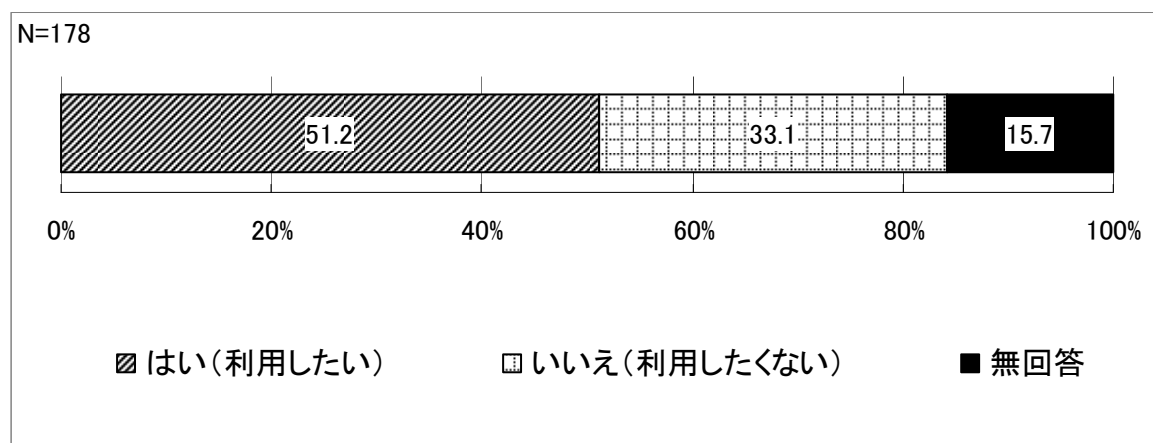
	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)
タイプA ひとり親	0.0%	0.0
タイプB フルタイム×フルタイム	6.7%	1.0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプD 専業主婦(夫)	11.1%	1.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		
タイプF 無業×無業		

※利用意向日数は週当たり

⑧ 利用者支援事業

就学前児童の保護者ニーズ調査の間 19 (町の事業やサービスの今後の利用意向) で、⑩ 子育て支援課 (子育て健康相談) について「1 はい (利用したい)」を選んだ方の割合を集計しました。

表 12 子育て支援課 (子育て健康相談) の利用意向率



(3) - 1 計画初年度（平成27年度）における平日日中の教育・保育の需要量の算出

各需要量は、次のとおりです。

表 13 平日日中の教育・保育の需要量

■0歳家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	59	4.2%	2
タイプB フルタイム×フルタイム		33.3%	20
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		25.0%	15
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.0%	0

<需要量の算出>

①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	2	100.0%	2
タイプB フルタイム×フルタイム	20	87.5%	17
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	15	83.3%	12
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.0%	0

■1・2歳家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	113	10.0%	11
タイプB フルタイム×フルタイム		32.0%	36
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		14.0%	16
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.0%	0

<需要量の算出>

①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	11	100.0%	11
タイプB フルタイム×フルタイム	36	85.7%	31
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	16	85.7%	14
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.0%	0

■3歳～就学前家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	180	15.1%	27
タイプB フルタイム×フルタイム		31.2%	56
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		36.6%	66
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		4.3%	8
タイプD 専業主婦(夫)		12.9%	23
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.0%	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.0%	0
タイプF 無業×無業		0.0%	0

<需要量の算出>

①<1号認定>(認定こども園及び幼稚園)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:需要量(人)
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	8	100.0%	8
タイプD 専業主婦(夫)	23	91.7%	21
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0
タイプF 無業×無業	0	0.0%	0

②<2号認定>(幼稚園)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	27	15.4%	4
タイプB フルタイム×フルタイム	56	13.8%	8
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	66	15.2%	10
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0

③<2号認定>(認定こども園及び保育所)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	27	84.6%	23
タイプB フルタイム×フルタイム	56	85.2%	48
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	66	84.8%	56
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0

(3) - 2 計画初年度（平成27年度）における地域子ども・子育て支援事業の需要量の算出

① 時間外保育事業

各需要量は、次のとおりです。

表 14 時間外保育事業の需要量

■0歳～就学前家庭

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)	=	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	352	×	12.0%	=	42
タイプB フルタイム×フルタイム		×	31.7%	=	112
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	28.1%	=	99
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	0.0%	=	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数		d:利用意向率(割合)	=	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	42	×	7.7%	=	3
タイプB フルタイム×フルタイム	112	×	0.0%	=	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	99	×	4.2%	=	4
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0

② 放課後児童健全育成事業

各需要量は、次のとおりです。

表 15 放課後児童健全育成事業の需要量

<低学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)	=	c:家庭類型別児童数(人)
タイプA ひとり親	208	×	15.1%	=	31
タイプB フルタイム×フルタイム		×	31.2%	=	65
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	36.6%	=	76
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	0.0%	=	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数(人)		d:利用意向率(割合)	=	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	31	×	44.4%	=	14
タイプB フルタイム×フルタイム	65	×	60.0%	=	39
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	76	×	72.2%	=	55
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0

<高学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)	=	c:家庭類型別児童数(人)
タイプA ひとり親	210	×	15.1%	=	32
タイプB フルタイム×フルタイム		×	31.2%	=	65
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	36.6%	=	77
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	0.0%	=	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数(人)		d:利用意向率(割合)	=	e:需要量(人)
タイプA ひとり親	32	×	22.2%	=	7
タイプB フルタイム×フルタイム	65	×	33.3%	=	22
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	77	×	52.9%	=	41
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0

③ 子育て短期支援事業

各需要量は、次のとおりです。

表 16 子育て短期支援事業の需要量

■0歳～就学前家庭

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)	=	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	352	×	12.0%	=	42
タイプB フルタイム×フルタイム		×	31.7%	=	112
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	28.1%	=	99
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		×	3.0%	=	11
タイプD 専業主婦(夫)		×	25.1%	=	89
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.0%	=	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		×	0.0%	=	0
タイプF 無業×無業		×	0.0%	=	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数		d:利用意向	=	e:需要量(人日)
タイプA ひとり親	42	×	0.0%	=	0
タイプB フルタイム×フルタイム	112	×	0.0%	=	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	99	×	0.0%	=	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	11	×	0.0%	=	0
タイプD 専業主婦(夫)	89	×	0.0%	=	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0
タイプF 無業×無業	0	×	0.0%	=	0

④ 地域子育て支援拠点事業

各需要量は、次のとおりです。

表 17 地域子育て支援拠点事業の需要量

■0歳～2歳の家庭

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)	=	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	172	×	8.1%	=	14
タイプB フルタイム×フルタイム		×	32.4%	=	56
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	17.6%	=	30
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		×	1.4%	=	2
タイプD 専業主婦(夫)		×	40.5%	=	70
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.0%	=	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		×	0.0%	=	0
タイプF 無業×無業		×	0.0%	=	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数		d:利用意向	=	e:需要量(人回)
タイプA ひとり親	14	×	133.3%	=	19
タイプB フルタイム×フルタイム	56	×	59.1%	=	33
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	30	×	359.6%	=	109
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	2	×	1200.0%	=	28
タイプD 専業主婦(夫)	70	×	605.8%	=	422
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0
タイプF 無業×無業	0	×	0.0%	=	0

⑤ 一時預かり事業

各需要量は、次のとおりです。

表 18 一時預かり事業の需要量

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	180	4.3%	8
タイプD 専業主婦(夫)		12.9%	23
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.0%	0
タイプF 無業×無業		0.0%	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:需要量(人日)
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	8	75.0%	6
タイプD 専業主婦(夫)	23	180.0%	42
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.0%	0
タイプF 無業×無業	0	0.0%	0

<2号認定による定期的な利用>

<家族類型別児童数の算出>

	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	4
タイプB フルタイム×フルタイム	8
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	10
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:需要量(人日)
タイプA ひとり親	4	20800.0%	867
タイプB フルタイム×フルタイム	8	31200.0%	2,415
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	10	28600.0%	2,852
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.0%	0

<上記(預かり保育)以外>
 <家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	352	12.0%	42
タイプB フルタイム×フルタイム		31.7%	112
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		28.1%	99
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		3.0%	11
タイプD 専業主婦(夫)		25.1%	89
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.0%	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.0%	0
タイプF 無業×無業		0.0%	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	幼稚園における在園児を対象とした一時預かりの需要量
タイプA ひとり親	42	1639.7%	
タイプB フルタイム×フルタイム	112	1900.3%	
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	99	846.7%	
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	11	0.0%	6
タイプD 専業主婦(夫)	89	450.0%	42
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.0%	
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.0%	0
タイプF 無業×無業	0	0.0%	0

	問23「5. ベビーシッター」 「6. その他」の利用(人日)	e:需要量(日)
-タイプA		691
-タイプB		2,123
-タイプC		839
-タイプC'		0
-タイプD		357
-タイプE		0
-タイプE'		0
-タイプF		0

⑥ 病児保育事業

各需要量は、次のとおりです。

表 19 病児保育事業の需要量

<0～5歳以下家庭のみ>
<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)	=	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	352	×	12.0%	=	42
タイプB フルタイム×フルタイム		×	31.7%	=	112
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	28.1%	=	99
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.0%	=	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数		d:利用意向	=	e:需要量(人日)
タイプA ひとり親	42	×	120.4%	=	51
タイプB フルタイム×フルタイム	112	×	181.9%	=	203
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	99	×	160.6%	=	159
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0

⑦ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）【就学後の利用】

各需要量は、次のとおりです。

表 20 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）の需要量

<低学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)	=	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	208	×	15.1%	=	31
タイプB フルタイム×フルタイム		×	31.2%	=	65
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	36.6%	=	76
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		×	4.3%	=	9
タイプD 専業主婦(夫)		×	12.9%	=	27
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	0.0%	=	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		×	0.0%	=	0
タイプF 無業×無業		×	0.0%	=	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数		d:利用意向	=	e:需要量(人日)
タイプA ひとり親	31	×	0.0%	=	0
タイプB フルタイム×フルタイム	65	×	6.7%	=	4
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	76	×	0.0%	=	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	9	×	0.0%	=	0
タイプD 専業主婦(夫)	27	×	11.1%	=	3
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0
タイプF 無業×無業	0	×	0.0%	=	0

<高学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)	=	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	210	×	15.1%	=	32
タイプB フルタイム×フルタイム		×	31.2%	=	65
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	36.6%	=	77
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		×	4.3%	=	9
タイプD 専業主婦(夫)		×	12.9%	=	27
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	0.0%	=	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		×	0.0%	=	0
タイプF 無業×無業		×	0.0%	=	0

<需要量の算出>

	c:家庭類型別児童数		d:利用意向	=	e:需要量(人日)
タイプA ひとり親	32	×	0.0%	=	0
タイプB フルタイム×フルタイム	65	×	6.7%	=	4
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	77	×	0.0%	=	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	9	×	0.0%	=	0
タイプD 専業主婦(夫)	27	×	11.1%	=	3
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0
タイプF 無業×無業	0	×	0.0%	=	0

⑧ 利用者支援事業

利用者支援量は、ニーズ調査結果から明確な需要量を算出することは困難ですが、子育て健康相談について、約半数の保護者が利用意向を示していることを踏まえつつ、事業量を見込むことになります。

(4) 需要量に対する事業量の見込み

需要量に対する事業量の見込みについては、現状の供給体制で 100%を確保できるのか、あるいは、新規で供給体制を確保すべきか、今後検討していくことになります。